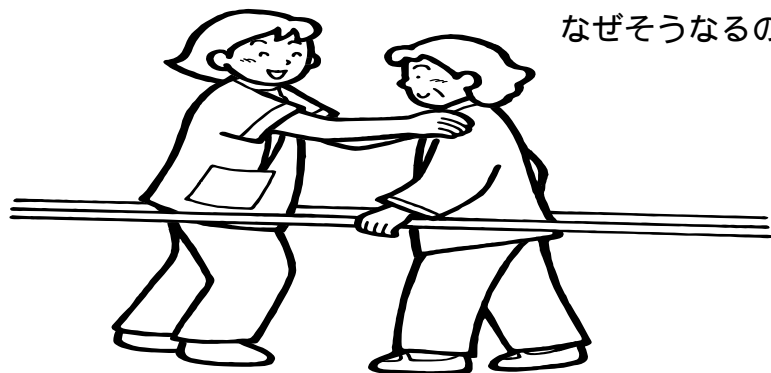


リハビリの検査

病院の中では、様々な検査を行いますが、今回はリハビリテーション（理学療法・作業療法・言語聴覚療法）のうち、理学療法で行われる主な検査のお話しをします。

これは理学療法を処方された患者さんの現在抱えている問題点を明らかにしたり、その効果を検証し、的確なリハビリテーションを進めるために行うものです。

- 1.関節可動域テスト:けがや病気で動かすことのできなくなった関節の動きをゴニオメーターという角度器のようなものを用いて計測します。
- 2.徒手筋力テスト:けがや病気により筋力がどの程度低下しているのかを抵抗運動で量ります。
- 3.片麻痺機能テスト:脳血管障害などで身体の半身麻痺が起きた時に、痺の重症度を調べます。
- 4.動作分析:正常な動作のパターンと患者さんの動作を比較し、どこに異常があるのか、また、なぜそうなるのかを分析します。
- 5.歩行分析:正常な歩行のパターンと患者さんの歩行を比較し、どこに異常があるのか、また、なぜそうなるのかを分析します。



以上が主なものですが、その他当院で特有に行っている検査には下記の2つがあります。

- 6.サイベックステスト:前十字靭帯損傷の患者さんの筋力をコンピューターを使って計ります。
- 7.正常圧水頭症テスト:正常圧水頭症（疑）の患者さんの歩行能力や記憶力の検査をします。

当院でのリハビリテーションは、原則的には入院中の急性期の患者さんを対象として、理学療法を行っております。

